vol.14　2023年 春号

ひさの
久野すがこ
活動ニュース

寝屋川市議会議員 無所属

「みんなが主役」の街づくり
ねやがわ

＜内部討議資料＞　【発行】ひさのすがこ後援会　【発行責任者】小林 佑介
寝屋川市御幸西町 25-14-301　TEL：090-2554-3185 メールアドレス：sugako55@yc4.so-net.ne.jp

「働く女性が住み続けたい街 ナンバーワン」を目指して

寝屋川市議会議員 久野すがこが目指している
「４つの街づくり」の政策について、熱い思いを語ります。

寝屋川市議会議員　**久野すがこ**

① すべての人にやさしい「安全・安心」の街づくり

「安全・安心」な街づくりには、防災と防犯への政策が重要です。防災面では、日ごろから自然災害が起こった時に、どこに避難するのかなど家族や地域で話し合って意識を高めていくことが大事です。コロナ禍において取得した資格「防災士」の知識をさらに深め、活かし、政策につなげていきたいと思っています。

――寝屋川市は水害が多かった地域ですね。災害への対策や防犯面の取り組みについてお伺いします。

災害対策として、大きな視点では、防災対策について国の事業として進めていくと共に、市としても要望を行っていきます。雨水対策として、高宮ポンプ場が完成し、現在は市西地域における浸水対策のために、地下に雨水を通すための管を設置する工事をしています。二中の校庭の資材はこの工事に使っています。また、豪雨時に川を氾濫させないために、小中学校の校庭や公園に一時的に雨水をためておく施設も整備してきました。

防災施設については、現場を訪れて実際に自分の目で確認し、仕組みを知ることがとても大切だと思っています。身近な視点では、地域を見ながら地区防災計画を立てることや、地域での避難訓練をしっかり行うことが大事ですね。

防犯対策としては、寝屋川市内には2000基の防犯カメラを設置しています。また、児童・生徒の登下校時の見守りを地域の皆さんと連携していくことが大事だと思います。パトロール強化については、駅前パトロール時間を以前は午後10時までだったのを、終電時間（午前１時）まで延長することを要望し実現しました。

② 子どもたちの未来のために「教育と文化」の街づくり

私自身、子育てしてきた実体験を通じて、いろいろな問題を解決していきたいと思っています。私の時代は保育園が不足していて、本当に待機児童が多かったんです。現在は市の「待機児童ZEROプランR」の取り組み等により、全体では待機児童はゼロになっていますが、隠れ待機児童という問題が残っています。皆さんが希望する保育園（自宅付近か最寄り駅までの間）に行けるようにしたいと思います。それが働く女性の願いだと思っています。

もう一つが病児保育ですね。寝屋川市には２カ所病児保育施設がありますが、市が支援することも視野にいれ、

施設を増やすか受け入れ数を増やすなどをしていく必要があります。

――グローバル教育視点を掲げられています。学校施設等の課題もあると思いますが、その点について教えてください。

グローバル教育とは、国際化という意味だけではありません。私たちがなすべきは、すべての子どもが将来社会に羽ばたくための「しっかりとした教育を受ける環境」をつくることです。寝屋川市では、施設一体型の小中一貫校を建設中で、令和６年度から「望が丘小学校」「望が丘中学校」が開校し期待が高まっています。一方で、寝屋川市には現在24の小学校と12の中学校があり、施設の老朽化や少子化で人数が少ない学校があります。新たな施設一体型小中一貫校建設も視野に入れた学校の統廃合とリニューアルで、子どもたちに高位平準化した教育環境をつくる、繰り返しになりますが、それが私たち大人の義務だと思っています。

また、すべての子どもがしっかり教育を受けられるような体制やサポートも大切です。スクールカウンセラーを中学校区に各１名配置していますが足りないという声もお聞きします。様々な理由で学校に行けない子どもたち、行きづらい子どもたちや家族も含めて相談できる、学べる場所を増やしていきたいと思います。

――給食費の無償化については、どのようにお考えでしょうか。

現在、寝屋川市ではコロナ対策予算で令和５年７月まで、保育園・幼稚園等も含め給食費は無償としています。その後も継続できる様、財源と一緒に考えていかなければならないと思っています。（年間でプラス約９億６千万円と試算されています）

――生涯学習の体制づくりについてお聞かせください。

生涯学習では、ダンスや陶芸等々の文化的なことに加え本格的な学習の場づくりも大事だと思っています。今課題になっているのは、平成30年の大阪北部地震で被災した総合センターが利用できなくなったことです（現在解体中）。図書館については、令和３年８月に中央図書館が寝屋川市駅前のアドバンスねやがわ１号館（イズミヤ）の４階にオープンしました。生涯学習施設については、アドバンスねやがわ１号館の５階と計画に上がっていましたが、５階はこども図書館にすべきだと思っています。生涯学習施設については、令和３年11月に寝屋川市が取得した（旧）大阪電気通信大学駅前キャンパスに入るべきだと思います。もともと学校施設なので、内装工事は少なく抑えることができ、隣接のアルカスホールと共に生涯学習施設の拠点にしていきたいと考えています。１階～３階は市民サービスのフロアとする案が現在も審議されていますが、条件的な課題がでてきています。

③ だれもが実感できる「健全な暮らし」の街づくり

本当に生活に困っている方が多くなっています。日々の暮らしの中で人には言えない事、苦しいことをたくさん抱えている人がいます。私も議員になってそのことを実感しています。具体的には生活保護の課題、ひきこもりの問題、高齢者、障がいをもつ方などが健全に暮らし続けていくことが大事なことです。

――生活に困っている方に対する取り組みと、これからの対策について教えてください。

やはりまずは相談だと思っています。相談体制を更に強化し伴走型支援をしっかりとしていくこと。そのためには様々な仕組みを使い、総合的な視野から相談に乗れることが大事だと思います。

――コロナ禍もあって非常に増えてきている「ひきこもり」の問題について、課題やその解決策についての考えをお聞かせください。

ひきこもりの課題については、私も一般質問で取り上げてきました。解決していく部署が医療的な問題なのか、それとも環境的な問題なのか、それぞれ個別に内容をしっかりと聞き取り、どういう対策をしていけば、その方の支援になるのか。そういった仕組みをつくりたいと思います。また、寝屋川市ではひきこもりのご家族と相談会を開催して、病院の先生や市役所の各部署がそれぞれ連携を取り支援を行っています。そのような相談窓口などについて、ポスターやホームページなどを活用し本人家族にしっかり伝わるよう周知していくことも大切な取り組みです。

――介護や認知症の問題は当事者だけではなく、それを支える家族という視点も大事だと思います。現在、取り組んでいる内容や活動についてお話しください。

まずは何よりも予防が重要だと思います。フレイル予防として、公民館等での体操教室に参加したり、皆さんと会話や交流をすることが大事です。いろいろな所に気軽に外出できるような、そんな地域をつくっていきたいと思います。

そして、地域で介護できる、皆さんでバックアップできる、身近な施設に入れるという仕組みづくりを目指しています。寝屋川市には現在、計12ヵ所の地域包括センターを設置しています。これらの取り組みを合わせて、きっちりと相談できる体制づくりをさらに進めていきたいと思っています。

④ 将来につながる「魅力ある私たちの街」

私も35年間、民間企業で勤めてきましたが「働く女性が住み続けたい街ナンバーワン」を目指したいと考えています。働く女性からの目線で政策を考え、高齢者や子どもさん、寝屋川市に住む皆さんにとって優しい街づくりにしていきたいと思っています。

その１つが「駅前づくり」です。

＜萱島駅＞市内で一番大阪に近い駅の萱島駅前については、長年の課題だった高架下のベンチを撤去し、歩道の切り下げ工事を行ったことで車が入れる状態になりました。将来的には、キッチンカーなどが入ってイベントをすることもできるよう協議もしていきたいです。また赤ちゃんを連れて萱島のトイレは入れない（怖い、衛生的でない）などの苦情もありましたが、トイレの一部改修も行うことができ、一歩ずつですが、実現に向かっています。

＜寝屋川市駅＞対馬江大利線の２期目の橋梁工事がもうすぐスタートします。寝屋川市では「ウォーカブルな街づくり」を視点として取り入れており、高齢者や歩行困難な方などが使用する電動車いすや、歩行者も安心して通れる、そんな道路を目指しています。

＜香里園駅＞京阪本線の高架化工事が進んでいます。全体が整備されるには10年以上はかかります。高架化に伴い、駅ロータリー、駅高架下施設をもっと活性化していく、そして近隣の商店街とも連携する取り組みをしていきたいと思っています。

＜寝屋川公園駅＞駅前の新しい道路との交差点にやっと信号がつきました。駅前広場を整備し、皆さんが集いやすい、そんな駅前を創っていきたいと思います。

――「次世代の街づくり」という点で、公共施設や公共交通の在り方が重要になってくると思います。この点について考えを聞かせてください。

これからは人口減少の時代であると言われていますので、全国的に公共施設の面積が増える傾向ではないと思います。皆さんのお住いの近くに公共施設が来て欲しいというご要望がありますが、予算的にも難しい状況です。公共施設はたとえば駅前やひとつの所に集めて新しくリニューアルしていき、皆さんが訪れたくなるような施設にしていくことが大事です。

施設に行くまでの交通手段は、タクシーやバスを利用することになります。例えば年間に何回かは無償にする補助をして、公共施設を増やさずにその代わりに公共交通を使っていく。そんな仕組み作りをやっていく必要があると思います。

シルバー世代・妊婦・障がい者の方を対象に、バス利用券を配布する政策を行っています。またタクシーに関しても乗合い事業の実証実験中です。

公共交通を利用しながら、公共施設を集約してより良い環境を作る。この２本柱でやっていきたいと思っています。

――寝屋川市の魅力の１つといえば「川」ですね。思いや考え方、やっていきたいことについて教えてください。

環境問題にもリンクしますが、寝屋川にも魚が生息して漁場がある、そんな川にしていきたいという思いがあります。また「親水」という考え方で、皆さんに水に親しんでいただけるような、寝屋川市の街づくりをしていきたいと思っています。

――最後に「将来につながる魅力ある私たちの街づくり」の具体的なイメージについて、ひと言で教えてください！

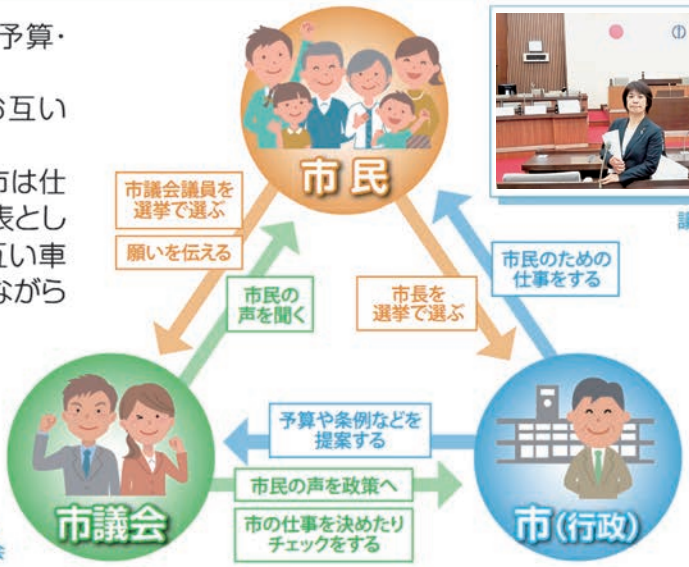
「将来につながる」ということで、働く女性が住み続けたい街ナンバーワンを政策の基軸に、いろんな世代をつなげていくことが大事だと思います。寝屋川市に住んでよかった、来てよかった、子どもたちも住み続けたいと思える街にしたいと思っています。みんなが笑顔で心やすらぐ暮らしができる街づくりをめざし取り組んでいきます。

市議会議員の役割

市議会とは

議会に上程された「事業・予算・条例」を審議します。
審議するにあたっては、お互い十分論議し決議します。
市議会で決まったことをもとに市は仕事を進めます。議会は市民の代表として、行政は執行機関として、お互い車の両輪のようにバランスを保ちながら市の運営に努めています。

◀暮らし相談会



議場にて ▲

直近の活動について

❀定例議会での一般質問を中心に市内各駅での挨拶運動や清掃活動
各種行事への出席や暮らし相談会、集会でのご挨拶など多岐にわたる活動を行っています！

12月定例議会（一般質問）

淀川清掃活動

記念式典

寝屋川公園駅周辺事業視察

挨拶運動（香里園駅）

暮らし相談

暮らし相談（オンライン）

萱島駅高架下視察

挨拶運動（萱島駅）

挨拶運動（寝屋川市駅）

久野 すがこ はこんな人！
街づくりの４つの政策を動画で語ります！

❀Tiktok・YouTube チャンネルを開設しました。
是非、スマートフォンのカメラで QR コードをお読みとり頂き、ご覧になってください。

画面イメージ

相続などでお悩みの方　いざ相続に直面すると、法的手続きは複雑で、本来助け合うべき家族が共同相続人となると利害対立者となり「相続」が「争続」になってしまうケースが増加しているようです。ひとりで悩まずにお気軽にご相談ください。ケースに応じて対応させていただきます。

広報ボランティア募集中!

久野すがこ 検索
ホームページ開設しています
URL：hisano-sugako.com

ひさのすがこサポーター登録募集中（会費無料）
連絡先：090－2554－3185（直通）
メール：sugako55@yc4.so-net.ne.jp

＜連合・電機連合・パナソニックグループ労連の議員＞

大阪市生まれ、大阪府立北野高等学校、京都府立大学。
パナソニックで半導体等の事業で企画・マーケティングに従事。
労働組合活動として役員経験後、パナソニックグループ労働組合連合会の中央執行委員を務める。

久野すがこ（ひさのすがこ）は
行動力と突破力で地域課題に取り組みます！